

## Ⅱ 生活必需物資の確保 及び価格の安定



平成26年度の事業概要	平成25年度の実績	実績評価
<p>1 生活必需物資の確保及び価格の安定(経済労働局)</p> <p>(1) 北部市場施設整備事業 施設利用の効率化と安全性、場内の衛生的環境の確保を図るため、電気・水道メーターの交換工事、青果棟耐震補強工事、駐車場舗装ライン引き改修工事、クーリングタワー改修工事、防犯カメラ設置工事、シャッター改修工事を行う。</p> <p>(2) 南部市場施設維持補修工事事業 施設の安全性を高め衛生的な市場環境を確保するため、電力量計取替改修工事、青果・花き卸売業者事務所棟屋上防水改修その他工事を行う。</p> <p>(3) 集荷強化対策事業 市場間競争が激化するなかにあって、一層の集荷の充実と強化を図るための事業を実施する。</p> <p>(4) 出荷契約団体報償金交付 鮮度の高い近郊産地の青果物の安定的な供給を確保するため、出荷者と卸売業者の間で年間出荷契約を締結し、契約を履行した出荷者に対して報償金を交付する。 交付予定団体数 10団体</p>	<p>1 生活必需物資の確保及び価格の安定</p> <p>(1) 北部市場施設整備事業 ・青果棟周辺道路段差改修 ・水産部門第一冷蔵庫解体に伴う施設付け替え ・水産部門冷蔵施設新設 ・水産部門第一冷蔵庫解体・撤去 ・水産棟周辺道路段差改修 ・花き部門前屋根新築 ・花き部門新築仲卸売場改修 ・花き部門関連店舗新設 ・花き部門既存防災設備改修 ・花き部門旧棟階段改修 ・花き部門暴風壁新設</p> <p>(2) 南部市場施設維持補修工事事業 ・電力量計取替工事 ・青果卸売場棟非常照明電源装置補修工事 ・水産卸売場棟屋上防水改修工事 ・青果卸事務所棟階段手摺及び水産卸棟防護柵改修工事 ・定温倉庫屋上防水改修工事</p> <p>(3) 集荷強化対策事業 優良出荷者表彰 表彰者数 13団体 ・青果部 6団体 ・水産物部 4団体 ・花き部 3団体</p> <p>(4) 出荷契約団体報償金交付 交付団体数 10団体</p>	<p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p>

### III 生活必需物資の確保及び価格の安定

平成 26 年度の事業概要	平成 25 年度の実績	実績 評価																																
<p>(5) 産地直売団体育成支援対策 産地直売活動を通して、新鮮な地場産野菜を直接消費者に供給する生産者団体を育成することにより、地場産野菜の生産振興を図るとともに、農業者との交流を図ることを目的として、直売団体に対して奨励金を交付する。 また、大型農産物直売所セラサモスについては消費者に農産物を安定的に供給するため、出荷者(市内農業者に限る)に対し売上額の2%以内の額を大型農産物直売所出荷奨励金として交付する。 交付予定件数 5件</p> <p>(6) 職員調査 日常生活に不可欠な生活必需物資の価格動向及び需給状況の監視調査等を行い、必要に応じて価格需給動向について、生産者、流通業者等の関係業界から事情聴取を行う業界事情調査を実施する。</p> <p>(7) 市民生活緊急対策 生活必需物資の供給不足や価格が著しく高騰するなどの緊急時には、価格の安定と供給の確保に必要な措置を行うため、関係機関との連絡調整、情報収集等を行い、市民生活安定のための対策を推進する。</p> <p>2 災害緊急対策 (1) 生活必需品の提供確保(経済労働局) ① 市内のデパート・スーパー等と締結している「災害時における生活必需物資の供給協力に関する協定」に基づき供給体制の充実を図る。 ② 生活協同組合と締結している「災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定」については、応急生活物資等の確保に努める。</p>	<p>(5) 産地直売団体育成支援対策 市内産農産物の直売を通じて、生産者と消費者の交流を深め、併せて流通のコスト削減を図った。</p> <table border="1" data-bbox="805 398 1412 936"> <thead> <tr> <th>直売団体名</th> <th>栽培面積</th> <th>直売所</th> <th>移動販売車</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>J Aセラサ川崎 そ菜部</td> <td>23.1ha</td> <td>12ヶ所</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>黒川農産物 直売会</td> <td>2.2ha</td> <td>2ヶ所</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>岡上直売会</td> <td>5.4ha</td> <td>1ヶ所</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>J Aセラサ川崎 青壮年部高津支部</td> <td>2.6ha</td> <td>1ヶ所</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>33.3ha</td> <td>16ヶ所</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>J Aセラサ川崎 セラサモス</td> <td>—</td> <td>1ヶ所</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>33.3ha</td> <td>17ヶ所</td> <td>1台</td> </tr> </tbody> </table> <p>* J Aセラサ川崎セラサモスを除く直売団体は、栽培面積に応じた奨励金を交付</p> <p>(6) 職員調査 生活必需物資の価格動向及び需給状況の監視等を行った。</p> <p>(7) 市民生活緊急対策 市民生活緊急対策を要する事態はなかった。</p> <p>2 災害緊急対策 (1) 生活必需品の提供確保 ① 市内のデパート・スーパー等と締結している「災害時における生活必需物資の供給協力に関する協定」に基づき供給体制の確認を行った。 新たに1事業者と協定を締結した。 ② 川崎市生活協同組合運営協議会に加入する生活協同組合の協力を得て「災害時における応急生活物資の供給協力に関する協定」の実効性を高めるため、締結団体と情報伝達訓練を行った。</p>	直売団体名	栽培面積	直売所	移動販売車	J Aセラサ川崎 そ菜部	23.1ha	12ヶ所	—	黒川農産物 直売会	2.2ha	2ヶ所	—	岡上直売会	5.4ha	1ヶ所	1台	J Aセラサ川崎 青壮年部高津支部	2.6ha	1ヶ所	—	小計	33.3ha	16ヶ所	1台	J Aセラサ川崎 セラサモス	—	1ヶ所	—	合計	33.3ha	17ヶ所	1台	<p>◎</p> <p>◎</p> <p>—</p> <p>◎</p> <p>◎</p>
直売団体名	栽培面積	直売所	移動販売車																															
J Aセラサ川崎 そ菜部	23.1ha	12ヶ所	—																															
黒川農産物 直売会	2.2ha	2ヶ所	—																															
岡上直売会	5.4ha	1ヶ所	1台																															
J Aセラサ川崎 青壮年部高津支部	2.6ha	1ヶ所	—																															
小計	33.3ha	16ヶ所	1台																															
J Aセラサ川崎 セラサモス	—	1ヶ所	—																															
合計	33.3ha	17ヶ所	1台																															

平成 26 年度の事業概要	平成 25 年度の実績	実績 評価										
<p>③ 神奈川県牛乳流通改善協会と締結している「災害時における牛乳等の供給協力に関する協定」に基づき、供給体制の充実を図る。</p> <p>④ 大手コンビニエンスストアと締結している「災害時における物資の供給に関する協定」に基づき、供給体制の充実を図る</p>	<p>③ 神奈川県牛乳流通改善協会と「災害時における牛乳等の供給協力に関する協定」に基づき、供給体制の確認を行った。</p> <p>④ 大手コンビニエンスストアと締結している「災害時における物資の供給に関する協定」に基づき、供給体制の確認を行った。</p>	<p>◎</p> <p>◎</p>										
<p>(2) 飲料水の供給（上下水道局）</p> <p>水道は、ライフラインとして市民生活にとって不可欠なことから、震災時の飲み水の確保のため、施設や管路の耐震化を計画的に推進するとともに、整備が完了した応急給水拠点に加え、応急給水拠点の確実性、利便性を高めるため、配水池、配水塔や供給ルート耐震化が完了した市立小中学校等へ開設不要な応急給水拠点の整備を行う。</p> <p>また、飲料水の汲み置き、応急給水拠点の位置確認など、防災意識の高揚を図ることを目的とした応急給水訓練や災害対策用貯水槽を活用した応急給水活動ができるよう、自主防災組織等を対象とした組立て・給水研修を実施する。</p>	<p>(2) 飲料水の供給</p> <p>震災時の飲み水の確保のため、地震に強い水道管の整備を進めるとともに、応急給水拠点を新たに4箇所設置し、市内全域に139箇所の整備が完了した。</p> <p>また、地域住民参加による応急給水訓練を計16回実施し、訓練実施区の応急給水拠点の確認や給水タンク車等から応急給水資器材を立ち上げての給水訓練を行い、防災意識の高揚を促した。さらに、自主防災組織等が災害対策用貯水槽の設置されている応急給水拠点を開設するに当たり必要となる技能を修得・維持するため、組立て・給水研修を15回実施した。</p>	<p>◎</p>										
<p>(3) 備蓄物資等の整備（総務局）</p> <p>① 備蓄生活用品の購入</p> <p>避難所で生活する被災者にとって、毛布は必要不可欠であり、緊急性が高いものであるため、購入から長期間経過した6,890枚について定期的な洗浄、再梱包を行う。</p> <p>また、耐用年数を迎えた哺乳瓶を更新するため、26年度に2,250本を購入する。</p> <p>② 備蓄食料品の購入</p> <p>想定避難者数のうち、家屋が全壊又は焼失した方を対象に、1人2食分を備蓄する必要がある。26年度は更新分として58,350食のアルファ化米と10,050食のアルファ化米（おかゆ）を購入する。</p> <p>また、購入するアルファ化米については、アレルギーに配慮したものとする。</p>	<p>(3) 備蓄物資等の整備</p> <p>① 備蓄生活用品の購入</p> <table border="0" data-bbox="877 1276 1404 1411"> <tr> <td>災害対策用毛布</td> <td>1,820枚</td> </tr> <tr> <td>哺乳瓶</td> <td>2,250本</td> </tr> <tr> <td>トイレットペーパー</td> <td>19,296巻</td> </tr> </table> <p>② 備蓄食料品の購入</p> <table border="0" data-bbox="877 1590 1404 1680"> <tr> <td>アルファ化米（わかめ御飯）</td> <td>154,300食</td> </tr> <tr> <td>アルファ化米（おかゆ）</td> <td>40,100食</td> </tr> </table>	災害対策用毛布	1,820枚	哺乳瓶	2,250本	トイレットペーパー	19,296巻	アルファ化米（わかめ御飯）	154,300食	アルファ化米（おかゆ）	40,100食	<p>◎</p> <p>◎</p>
災害対策用毛布	1,820枚											
哺乳瓶	2,250本											
トイレットペーパー	19,296巻											
アルファ化米（わかめ御飯）	154,300食											
アルファ化米（おかゆ）	40,100食											

### Ⅲ 生活必需物資の確保及び価格の安定

平成26年度の事業概要	平成25年度の実績	実績評価												
<p>③ 備蓄飲料水の購入            発災から災害用応急給水拠点が開設されるまでの応急対策として、家屋が全壊又は焼失した方を対象に、1人1本(500ml)を備蓄する必要がある。26年度は34,464本の飲料水を購入する。</p>	<p>③ 備蓄飲料水の購入            飲料水(500ml) 70,200本</p>	<p>◎</p>												
<p>④ 粉ミルクの購入            想定避難者数のうち、家屋が全壊又は焼失した方で、0歳を対象とした粉ミルクを備蓄する必要がある。26年度は680缶を購入する。            また、購入する粉ミルクについては、アレルギーに配慮したものとする。</p>	<p>④ 粉ミルクの購入            アレルギー対応粉ミルク(850g)680缶</p>	<p>◎</p>												
<p>⑤ 防災資器材燃料の購入            停電時に各避難所の電気を確保するため、発電機を配備している。その燃料として26年度に1ℓ入りガソリン缶詰を700缶購入する。</p>	<p>⑤ 備蓄用資器材・備品の購入</p> <table border="0"> <tr> <td>掛矢(両口ハンマー)</td> <td>51本</td> </tr> <tr> <td>トランジスタメガホン</td> <td>44個</td> </tr> <tr> <td>斧(手斧)</td> <td>73本</td> </tr> <tr> <td>ガソリン缶詰(1リットル)</td> <td>700缶</td> </tr> <tr> <td>ガソリン携行缶</td> <td>232缶</td> </tr> <tr> <td>バルーン型LED投光器</td> <td>175基</td> </tr> </table>	掛矢(両口ハンマー)	51本	トランジスタメガホン	44個	斧(手斧)	73本	ガソリン缶詰(1リットル)	700缶	ガソリン携行缶	232缶	バルーン型LED投光器	175基	<p>◎</p>
掛矢(両口ハンマー)	51本													
トランジスタメガホン	44個													
斧(手斧)	73本													
ガソリン缶詰(1リットル)	700缶													
ガソリン携行缶	232缶													
バルーン型LED投光器	175基													
<p>⑥ 備蓄倉庫の整備            「川崎市地域防災計画(震災対策編)」及び「川崎市備蓄計画」に基づき、地震等の災害時における応急対策の迅速・確実な対応を期するため、地域防災拠点である市立中学校及び避難所である市立小学校等に、食料や生活用品、応急用資機材の備蓄を行うための備蓄倉庫を整備する。            26年度においては、平成25年度に整備未了となった9箇所を含む、49箇所の整備を行う。</p>	<p>⑥ 備蓄倉庫の建築            独立型備蓄倉庫 18棟</p>	<p>◎</p>												
<p>(4) 防災に関する情報(総務局)</p> <p>① ぼうさい出前講座            防災に対する理解と関心を深め、防災意識の高揚と地域の防災力向上を図ることを目的とし、ぼうさい出前講座を実施する。</p>	<p>(4) 防災に関する情報</p> <p>① ぼうさい出前講座            防災に対する理解と関心を深め、防災意識の高揚と地域の防災力向上を図ることを目的とし、ぼうさい出前講座を実施した。            実施回数 77回</p>	<p>◎</p>												

平成 26 年度の事業概要	平成 25 年度の実績	実績 評価
<p>② 冊子「備える。かわさき」を発行                      災害に対する日ごろの備えなど、各個人、家庭での防災対策や、地域の防災を考える際に役立つ情報を掲載した「備える。かわさき（保存版）」を発行するほか、外出時の防災対策についてまとめた「備える。かわさき」ポータブル版を、掲載内容及び在庫数を勘案し必要に応じて発行する。                      また、小学校や保育園の児童、外国人市民などに向けて、防災知識の普及啓発を一層図るために、難しい言葉や専門的な言葉を簡単な言葉に置き換えた「やさしいにほんご版」を発行する。                      その他、災害時に重要な避難所や給水拠点等の防災拠点を示した「防災マップ」の発行のほか、外国人支援対策の一環として、「備える。かわさき（保存版）」と「防災マップ」の多言語版（英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語及びタガログ語の6言語）を発行する。</p>	<p>② 冊子「備える。かわさき」を発行                      保存版 55,000部                      ポータブル 100,000部                      やさしいにほんご版 10,000部                      防災マップ 55,000部                      備える。かわさき                          (多言語版) 3,000部                      防災マップ(多言語版) 16,800部</p>	<p>◎</p>
<p>③ 企業向け防災啓発広報紙「川崎市防災対策ガイドブック ～企業・事業所の方へ～」の発行                      企業の防災対策の取組を促進するため、企業向け防災啓発広報紙を掲載内容及び在庫数を勘案し必要に応じて発行する。</p>	<p>③ 企業向け防災啓発広報紙「川崎市防災対策ガイドブック ～企業・事業所の方へ～」の発行                      発行部数 5,000部                      企業向け防災啓発広報紙「川崎市防災対策ガイドブック（簡易版）」の発行                      発行部数 1,000部</p>	<p>◎</p>
<p>④ 「年賀はがき購入申込書」の広告欄を活用した広報                      郵便事業株式会社南関東支店が発行し市内各家庭や企業に配布する「年賀はがき購入申込書」の広告欄に本市防災情報を掲載し、市民等に対し啓発するもの。</p>	<p>④ 「平成26年用年賀はがき購入申込書」の広告欄を活用した広報                      申込書発行部数 700,000部</p>	<p>◎</p>